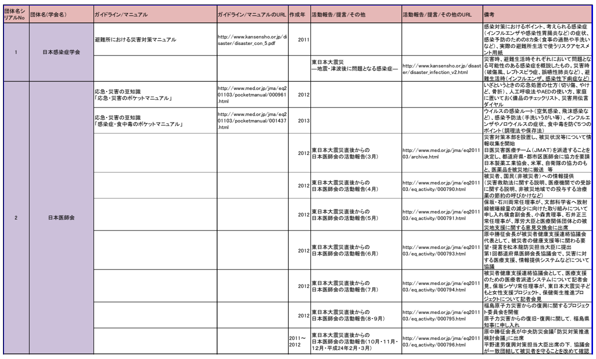
第2回災害保健医療マニュアル調整会議を共同開催しました(2013/5/26)

場所：国立国際医療センター国際医療協力局（東京）
テーマ：「災害時保健医療活動に関する指針やマニュアルの現状把握と関係各機関の調整」

５月２６日（日）に東京の国立国際医療センターで、第２回災害保健医療マニュアル調整会議を日本集団災害医学会災害保健医療マニュアル委員会（委員長：上原鳴夫東北大学名誉教授）と特定プロジェクト研究経費により共同開催しました。

第１回にひきつづき、日本集団災害医学会災害マニュアル委員会、DMAT 事務局、厚生労働省（医政局指導課、社会・援護局、災害医療等のあり方に関する検討会、災害時の診療録のあり方に関する検討会）、国立保健医療科学院、国立感染研究所、国立国際医療研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国際緊急援助隊医療チーム支援委員会、日本医師会、全国保健所長会災害調整事業班、全国衛生部長会災害対応計画事業班、日本看護協会、全国保健師長会、日本赤十字社、日本プライマリ・ケア連合学会、日本老年医学会、東北大学災害科学国際研究所が参加しました。災害時に蔓延しやすい感染症をいかに把握し、予防策を講じるべきかについて集中的な議論がなされました。とくに災害発生時に最初に被災地に入ったチームが行うべきことをどのように盛り込むかが議論されました。被災地での肺炎原因菌の解析や、避難所の水・トイレ・電気・ガス・食料・密集事情が悪いところほど感染症のアウトブレイク（集団発生）が起きやすいことから、特殊な感染症よりは発熱・咳・下痢といった一般的な症状をいかにはやくとらえ、対策を講じるかが有効なアウトブレイク予防策となることを主張しました。学会や団体が作成しているマニュアル・ガイドライン・報告書などの一覧表が作成され、集められた情報へのリンクは厚生労働省と協働して国立保健医療科学院(http://www.niph.go.jp/topics/earthq_index.html)やEMIS のホームページ(http://www.wds.emis.go.jp/)からアクセスできるようにすることが決定されました。

第３回災害保健医療マニュアル調整会議は 2013 年８月１１日（日）に開催される予定です。



団体名シリアルNo	団体名(学会名)	ガイドライン/マニュアル	ガイドライン/マニュアルのURL	作成年	活動報告/提言/その他	活動報告/提言/その他のURL	備考
1	日本感染症学会	避難所における災害対策マニュアル	http://www.kansensho.or.jp/disaster/disaster_con_5.pdf	2011			感染対策におけるポイント、考えられる感染症(インフルエンザや感染性胃腸炎など)の症状、感染予防のための8カ条(食事の過熱や手洗いなど)、実際の避難所生活で使うリスクアセスメント用紙
					東日本大震災 —地震・津波後に問題となる感染症—	http://www.kansensho.or.jp/disaster/disaster_infection_v2.html	災害時、避難生活時それぞれにおいて問題となる可能性のある感染症を概説したもの。災害時(破傷風、レプトスピラ症、誤嚥性肺炎など)、避難生活時(インフルエンザ、感染性下痢症など)
2	日本医師会	応急・災害の豆知識 「応急・災害のポケットマニュアル」	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/pocketmanual/000961.html	2012			いざというときの応急処置の仕方(切り傷、やけど、骨折)、人工呼吸法やAEDの使い方、家庭に置いておく備品のチェックリスト、災害用伝言ダイヤル
		応急・災害の豆知識 「感染症・食中毒のポケットマニュアル」	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/pocketmanual/001437.html	2013			ウイルスの感染ルート(空気感染、飛沫感染など)、感染予防法(手洗いうがい等)、インフルエンザやノロウイルスの症状、食中毒を防ぐ5つのポイント(調理法や保存法)
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(3月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/archive.html	災害対策本部を設置し、被災状況等について情報収集を開始 日医災害医療チーム(JMAT)を派遣することを決定し、都道府県・郡市区医師会に協力を要請 日本製薬工業協会、米軍、自衛隊の協力のもと、医薬品を被災地に搬送 等
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(4月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000790.html	被災者、国民(非被災者)への情報提供 (災害救助法に関する説明、医療機関での受診に関する説明、非被災地域での投与する治療薬の節約の呼びかけなど)
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(5月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000791.html	保坂・石川両常任理事が、文部科学省へ放射線被曝線量の減少に向けた取り組みについて申し入れ横倉副会長、小森貴理事、石井正三常任理事が、厚労大臣と医療関係団体との被災地支援に関する意見交換会に出席
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(6月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000793.html	原中勝征会長が被災者健康支援連絡協議会代表として、被災者の健康支援等に関わる要望・提言を松本龍防災担当大臣に提出 第1回都道府県医師会長協議会で、災害に対する医療支援、情報提供システムなどについて協議
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(7月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000794.html	被災者健康支援連絡協議会として、医療支援のための医療者派遣システムについて記者会見。保坂シゲリ常任理事が、東日本大震災子どもと女性支援プロジェクト、保健衛生推進プロジェクトについて記者会見
				2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(8・9月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000795.html	福島原子力災害からの復興に関するプロジェクト委員会を開催 原子力災害からの復旧・復興に関して、福島県知事に申し入れ
				2011～2012	東日本大震災直後からの 日本医師会の活動報告(10月・11月・12月・平成24年2月・3月)	http://www.med.or.jp/jma/eq201103/eq_activity/000796.html	原中勝征会長が中央防災会議「防災対策推進検討会議」に出席 平野達男復興対策担当大臣出席の下、協議会が一致団結して被災者を守ることを改めて確認

マニュアル一覧表

災害に関する保健医療関連情報提供サイト

文責：江川新一（災害医学研究部門）